

第 1 7 6 1 回 例 会 (令和 6 年 1 1 月 1 日)

本日のプログラム 年次総会／会員一口卓話

(予定者：椋梨孝章・山本大介会員)

- 前例会の記録 (第 1 7 6 0 回 令和 6 年 1 0 月 2 5 日)
- ・会員数 3 9 名

・出席者 3 4 名 ・出席率 9 1 ・ 8 9 % (出席免除者出席 2 名)

・欠席者 4 名 福嶋啓祐・金子洋方・吉岡孝恭・高橋剛吉の諸君

・出席免除者 3 名 奥野千秋・岡辺賢二・牧野真樹君
- ・ 1 0 月 1 1 日メーキャップ後の出席率 9 1 ・ 8 9 %→1 0 0 %に補正
- 10 月 6 日地区大会登録、池田孝君 9 月 6 日定例理事会参加、三宅達夫君
- ・ゲスト な し ・ビジター 山本国春様 (笠岡 RC)
- ・会長報告 本日は、国際ロータリー創立 1 1 9 年と 2 5 5 日に当たり、笠岡東ロータリークラブは創立 3 7 年と 3 0 8 日に当たります。
- 訃報連絡があります。パストガバナーの友末 誠夫様 (津山 RC 会員) が、10 月 16 日ご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- 10 月 23 日、パスト会長会が開催されました。
- ・幹事報告 榊原ガバナー事務所より、「世界ポリオデー」の取り組みについてご報告のお願い。
- 坂口ガバナーエレクト事務所より、次期クラブロータリー財団委員長研修会並びに地区補助金管理セミナーのご案内を頂いております。日時：2024 年 12 月 21 日 (土) 13：30～15：30
- 場所：米子コンベンションセンター
- 笠岡市青少年健全育成推進大会のご案内が参っております。
- 日時：2024 年 11 月 23 日 (祝土) 9：30～11：00 場所：笠岡市保健センター ギャラクシーホール
- 笠岡市立竹喬美術館より、「入江西一郎のどうぶつ画」のご招待券を頂いております。
- ・委員会報告 な し ・配 布 週報 ・食 事 エビフライカレー (米山ランチ)

◎スマイル

- 新井善久君 奥野さんお帰りのさい。谷口さんの新会員卓話よろしくお願ひします。
- 金政一孝君 10 月最後の例会です。次週は年次総会があります。11 月からネクタイ着用です。
- 池田 孝君 山本様ようこそいらっしゃいました。谷口会員卓話楽しみにしています。
- 中濱康幸君 谷口さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。
- 奥野千秋君 約 3 ケ月ぶりにヨーロッパクルージング航海から無事帰って参りました。
- 赤瀬 健君 4 クラブ優勝しました。
- 谷口有紀子君 本日は皆様のお時間を頂き卓話させていただきます。宜しくお願いします。
- 岡辺賢二・山本茂雅・小川隆則君 谷口有紀子様卓話を楽しみにしています。
- 三宅達夫君 2 週間続けて休みました。メーキャップします。奥野さん無事お帰りのさい。
- 工藤一郎君 奥野さんお帰りのさい。元気そうでなによりです。谷口さん卓話楽しみです。
- 山本大介君 明日サテライト笠岡で 20 周年イベントを開催します。
- 恵谷龍二君 早退させていただきます。

スマイル 2 5 , 0 0 0 円

●プログラム 新会員卓話 谷口 有紀子会員

工藤さんからの紹介で、今年の 6 月に入会しました、谷口です。

1977 年生まれ。浅口・鴨方の六条院小学校を出て、中学・高校の 6 年間で金光学園で過ごしました。その後は、京都の龍谷大学法学部政治学科に進学しました。東京への就職を強く希望していましたが、就職活動の前年に、山一證券が破綻——いわゆる就職氷河期に当たり、就職先が見つからないまま、落武者のような気持ちで岡山に帰ってきました。しかし、ありがたいことに、岡山にあった中四国リクルート企画というリクルートの子会社にひろっていただき、中途採用の求人誌「ビーイング」という誌面作りに、2 年ほど携わり、たまたま母がメガネの学校で勉強する人間を探していて、深く考えもしないまま手を挙げたのが、メガネ業界に入るきっかけでした。

お店は元々、田中眼科医院の院長であった母が、昭和 51 年、有限会社田中コンタクトレンズセンターを設立。当時、院内で取り扱いを始めたのが最初です。それから 10 年ほどして、現在の場所——田中眼科の向かいに店を構えました。当時、メガネは宝石や時計と一緒に扱うお店が多い中、メガネ・コンタクトレンズ・補聴器を扱うお店でした。そして、天満屋ハピータウン鴨方店に 2 店舗目を作りました。しかし、チェーン店の台頭により近隣に専門店ができ、来客は分散。不景気が続くと、眼鏡市場のような均一価格店が登場し、それまでのメガネ業界の常識は覆りました。チェーン店も次々と苦境に立たされました。

私がお店を引き継いだのは、そうしたころでした。財務諸表の見方もわからない私でしたが、そんな私でさえわかるほどの経営難でした。ハピータウン店を閉めることにしました。それで、赤字が解消しないようなら、廃業することも考えていました。そのような状況の中でも、スタッフが本当によくがんばってくれました。状態が持ち直すのに 10 年ほどかかりましたが、なんとか赤字は解消でき、その後も色々な脅威がありながらも、今日まで経営することができており感謝しています。そして、「メガネ・コンタクトレンズ・補聴器」の販売するときの許可や資格についてですが、まず、コンタクトレンズは医療機器分類の中で厳格な規制をうける高度管理医療機器(クラスⅢ)に分類されています。補聴器はクラスⅡに分類され、所轄の都道府県に届出をします。管理者を設置することも要件にありますが、届出は最初のみで、管理者更新のための講習義務もありません。そして、眼鏡については、そういったものは一切ございません。しかし、メガネが常に医療の側にあることは皆様ご存知の通りかと思います。一定水準の専門の知識も持たないで、その業にあたる状況は、ちょっと変かなと思っています。ドイツやアメリカでは国家資格者の処方箋がなければ、眼鏡を作ることができません。韓国、中国でも国家資格制度が設けられています。でも、日本では、長らくの間、ありませんでした。資格制度が必要であるという議論は、1960 年ごろから行われていましたが成立できず、2001 年、民間による認定眼鏡士制度という形をとりました。国家資格制度の導入はその後切望され、様々な調査や議論を繰り返し、2021 年に国家検定資格の「眼鏡作製技能士」が誕生しました。この眼鏡作製技能士は、お客様から使用状況や目的をお伺いし、視力の測定、レンズやフレームの選定、加工、フィッティング、アフターケアを行います。そのため、視機能や光学といった知識、フレームやレンズといったメガネに関する知識が必要です。更に、検査を行う能力、レンズを削ってメガネに仕上げる加工の技術、お客様のお顔にフレームを合わせるフィッティングの技術といった少々職人的な要素も身につけていることが求められます。しかし、国家検定になったからといって、メガネの販売は未だ「許可」も「認可」も必要ないままですし、検定に合格した技能者の設置が義務付けられているわけでもありません。そんな中でも、この試験を受け、眼鏡作製技能士であるということは、責任を課し、お客様に安心を提供できるようにするそうした思いの証でもあるように感じています。本日はご清聴ありがとうございました。

次週以降のプログラム＆行事予定

- 1 1 / 3 (日) 新井年度第 1 回スマイル会ゴルフ大会 7：56 スタート 吉備カントリークラブ
- 1 1 / 6 (水) バーベキューコンロ引き渡し式 15：30～ おかやま山陽高校にて
- 1 1 / 8 (金) 第 2 例会 バーベキュー大会の説明：岡原／ロータリー財団月間に因んで：池田周